

## **5期連続の過去最高の営業収益！**

**にもかかわらず・・・**

## **年末手当は昨年と同じ支給月数!?**

2016年度年末手当の支給月数は3.0ヶ月です。3.0ヶ月は、一昨年、昨年と同じ支給月数です。2016年度の第2四半期決算（中間決算）は5期連続の過去最高の営業収益となっています。にもかかわらず・・・年末手当はアップなしです。これでは何時になったら、どうなればボーナスがアップされるのか見当も付きません。ハッキリしていることは会社の業績が好調でもボーナスはアップされないということです。

## **リニアのためのボーナス抑制!?**

ボーナスが抑制される要因としてリニアが考えられます。葛西名誉会長は新聞のコラムで「東海道新幹線が生み出す可処分資金は今は1年に5,000億円を超えている。リニアは東海道新幹線が生み出す可処分資金で建設される。東海道新幹線の収入を未来に投資する条件が今ようやく整った意義は大きい」と述べています。リニア建設に向けてボーナス抑制やコスト削減等々を行い、1年に5,000億円を超える可処分資金が生み出されています。また、葛西名誉会長が未来に投資すると述べていますが、はたしてリニアの未来はあるのでしょうか？リニアの安全性は確保されておらず、自然環境への影響や電磁波による人体への影響など解決されていません。さらに新たに巨額な債務を抱えることになり経営が圧迫されます。このように様々な問題があるリニアの未来は見えてきません。しかし、会社はリニア建設を強引・傲慢に押し進めています。

## **JR東海役員報酬は鉄道会社でダントツ！**

東洋経済ONLINE(10月31日)に鉄道会社の1人当たり役員報酬が掲載されています。JR東海の役員報酬はダントツの1位です。さすが20人中16人が東大卒ということもあり、JR東海の1人当たり役員報酬は6,131万円です。2位JR西日本4,811万円、3位JR東日本4,519万円、4位西日本鉄道3,731万円、5位西武HD3,580万円と続きます。社員のボーナスは抑制しても役員報酬はリニアとは関係ないみたいです。

役員報酬のように鉄道会社でダントツに支給しろとは言いませんが、社員のボーナスのアップは実施すべきです。